コラボレーションプロジェクト

一般社団法人 廃棄物資源循環学会

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災を受けて、廃棄物資源循環学会は、いちはやく支援活動を開始。今も継続しています。災害廃棄物対応に関する自治体支援がメインですが、顔が見えて、形に残る支援の在り方も模索。今回の「循環とくらし」のテーマにちなんで、自転車をプレゼントすることができないかと考えました。そこで、被災地支援も盛り込んだエコ活動を行う「びっくり！エコ実行委員会」とコラボして、現地に自転車を届けることに！その経緯を綴ります。

3月11日

コラボ相手の『びっくり！エコ実行委員会』とは？

京都議定書が発効した 2005 年より、環境意識・行動の底上げを目指して活動開始。
キャッチフレーズは、「一人でも多くの人に、一つでも多くのエコを！」。
人通りの多い百貨店（京都＆新宿タカシマヤ）での展示・ワークショップ企画「びっくり！エコ 100 選」や、「京都議定書バースデーウォーク」などを展開。
市民 × 学 × 産 × 官で運営している点がユニーク。浮き沈みもあるが、時にパワフル。
★ホームページ：http://www.eco100.jp/

災害廃棄物対策・復興タスクチーム発足。

災害発生から一週間後に発足し、ウェブを通じて、活発な情報交換・蓄積が行われました。3 月 25 日からは、現地派遣も始まり、実態を全国の研究者や実務者に伝えると同時に、知見を集約し、マニュアル化を通じて、現地自治体等を支援しました。

東京にて、東日本大震災の災害廃棄物に関する緊急報告会を実施。

『循環とくらし』自転車特集について編集会議。

3月18日　4月30日　5月9日　5月31日　7月7日

今年の『びっくり!エコ 100 選』は、次のような被災地支援企画を盛り込むことを決定。

①つながるエココロプロジェクト
被災地と、京都・東京の子供たちで
1 つの絵を完成させよう！

②チャリティーで、被災地の子供に
遠足をプレゼントしよう！

大倉侍郎さんと線を引く

巻物にみんなが「つながる」線！

エココロプロジェクト初会合
岩手のカウンターパートが次の団体に決定。

・ＮＰＯ環境パートナーシップいわて
・まごころ広場　うすざわ
・いわいずみ　こどもエコクラブ

仙台にて、東日本大震災の
災害廃棄物に関する現地セミナー
及び現地視察を実施。

タスクチームの活動

仙台市役所や岩手県庁に入り、災害廃棄物対策支援にあたってきました。
そのグッドプラクティスやノウハウを含む「災害廃棄物分別・処理戦略マニュアル」を作成・発信。
「津波堆積物」については、環境省の委託を受けて、処理方針を議論・立案しました。
現在、約 150 名がエントリーしています。
★ホームページ：
http://eprc.kyoto-u.ac.jp/saigai/

★自転車つながりから、コラボの話が進む。

6月22日　**7月15日,19日**　**7月21日**　**7月23日**

京都で描き込み！

・大宅保育園
・東福寺保育園
・あけぼの保育園

東京で描き込み！

京都のお友達からの
バトンタッチ！
上手に描けたかな？？

自転車で運ぶ！

京都～名古屋～静岡～新宿 3 日で到着！！

お届けは『チームナチュラルエナジー』!!

「無事帰る」願いをこめたキーたち。

現地を訪問し、自転車をプレゼント！

ついに、岩手県大槌町を訪問し、まごころ広場うすざわ（被災者の交流の場を提供）さんに、5台の自転車を贈呈！希望により、誰でも乗れる、いわゆるママチャリを、現地で被災した自転車屋さんに調達して頂きました。仮設住宅への交流訪問や御用聞きなどに活用して頂けるそうです。

中央が大槌町の臼澤さん、右が岩手の渡邊さん。

7月下旬　8月上旬　8月25日

岩手で描き込み！

最後の書き込み！
京都、東京、岩手がつながった！！

今年の「びっくり！エコ100選」で、作品展示！

綴った人たち：
山川（やまかわ）肇（はじめ）（京都府立大学、学会）、
森（もり）有彌（ゆうや）（京都大学学生、びっくり！エコ）、
浅利（あさり）美鈴（みすず）（京都大学、学会、びっくり！エコ）